

①概要

1. 業務名 : 名神高速道路 2024年度■■■■管内維持修繕業務
2. 発生日時 : 2024年 4月 26日 (金) 15時 20分頃
3. 誤使用区間 : 名古屋高速道路 一宮合併料金所～一宮西春出口
当該車両は名高速の管理用通行証をもっておらず、区間外使用
4. 概要 : 連絡車 (■■■■) を使用して集中工事の広報看板の設置状況の確認を行っていたが、一宮 I Cで確認行為に気を取られ、一宮合併料金所を通過して名高速へ進行してしまった。
5. 時系列 : 4月26日 15:20 一宮合併ICで誤使用
5月 9日 18:00 所長に本社経営人事企画部より誤使用の連絡
5月10日 17:00 安全大会予定

②原因と対策

6. 原因 : ・維持指定車両は使用できることから、メンテ車両は全て名高速使用可能との思込み。
・看板確認に気を取られ過ぎ、普段のルートとは違っている事の認識が全く無かった。
・日報（プレート管理表）の行先欄に「一宮」と記載したため、帰着後のチェック者も気付かなかった。
(使用者はNEXCO一宮料金所を出て国道22号線に流出できている事から一宮と記載)
7. 対策 : ・一宮合併料金所は維持指定車両以外は原則利用禁止とする。
・業務用プレートの使用について再教育する。
通用区間・車番・期間の確認、日報の記入方法（行先には出口IC名を記載）
・業務用プレートで名高速を利用できない車両には、『名高速禁止』の表示を運転中に目に着く位置に貼付する またプレートを入れるケースにも『名高速禁止』を貼り付ける
・プレート貸出時「車両貸出用管理システム」により名高速走行可・不可が識別できるため、貸出者は借用者に貸出者は「この車両は名高速は走れません」と借用者に声掛けし名高速へ行かないことの確認を取ったうえで貸し出す(今までは名高速を走れる車両のみに「名高速利用できます」声掛けしていた)

③ 対策

車内の明示



プレートケースへの「使用禁止」貼り付け

